

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	外国語:英語コミュニケーションⅠ(必履修)	単位数 4 単位	履修年次 1 年次
目標	英語の特徴や決まりへの理解を深め、その知識を聞くこと・読むこと・話すこと・書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じて、適切に活用できる技能を身につける。また、英語で情報や考えを理解し、それらを適切に表現したり伝え合ったりする力を身につけるとともに、主体的に英語でコミュニケーションをとる姿勢を身につける。		
使用教材	教科書「開隆堂 Amity English CommunicationⅠ」 副教材「開隆堂 Amity English CommunicationⅠワークブック」 副教材「ベネッセ 進路マップマナトレ英語基礎編」		
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	英語の特徴や決まりへの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的に応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、日常的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションをとろうとしている。
評価方法	評価の観点・評価規準をふまえ、ペーパーテスト、パフォーマンステスト(実技テスト)の他、日々の授業態度、言語活動の様子、課題などの提出状況、小テストなどを含め、総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	<b>【英語の決まりや仕組み】</b> ・be動詞の現在形と過去形 ・一般動詞の現在形と過去形 ・進行形 ・助動詞 <b>【読むこと】</b> ・Lesson 1～ Lesson 3を中心に、異文化やコミュニケーションをテーマにした英文を読む。 <b>【書くこと】</b> ・身近な単語を用いて、簡単な英文を書く。 <b>【聞くこと・話すこと】</b> ・自己紹介をしたり、聞いたりする。	基礎・基本的な英語の決まりや仕組みの学習(中学校の復習)を行いながら、平易な英語で書かれた英文を読む力を身につける。また、身近な単語や表現を使って、英文を書く、自分自身を相手に紹介する、相手の自己紹介を理解するなどの力を身につける。	
2	<b>【英語の決まりや仕組み】</b> ・不定詞、動名詞 ・比較 ・現在完了 <b>【読むこと】</b> ・Lesson 4～ Lesson 7を中心に、食べ物や歴史や、教育をテーマにした英文を読む。 <b>【書くこと】</b> ・身近な単語を用いて、簡単な英文を書く。 <b>【聞くこと、話すこと】</b> ・過去のことについて聞いたり、話したりする。 ・外国の行事について聞いたり、話したりする。	基礎・基本的な英語の決まりや仕組みの学習(中学校の復習)を行いながら、平易な英語で書かれた英文を読む力や、身近な単語や表現を使って英文を書く力を身につける。また、過去の表現を使って過去の出来事について相手に話す力を身につける。加えて、外国の行事を学ぶことで、異文化の理解に努める。	
3	<b>【英語の決まりや仕組み】</b> ・受動態 ・分詞 ・関係代名詞 <b>【読むこと】</b> ・Lesson 8～ Lesson 10を中心に、世界で活躍する人物をテーマにした英文を読む。 <b>【書くこと】</b> ・身近な単語を使って、簡単な英文を書く。 <b>【聞くこと・話すこと】</b> ・予定について聞いたり、話したりする。	1・2学期の学習内容より複雑な英語の決まりや仕組みの学習を行いながら、長めでやや複雑な英文を読む力を身につける。また、身近な単語や表現を使って英文を書く力や、自分の予定について話す力、クラスメイトの予定について聞き取る力を身につける。	
学習上の留意点	①最初の授業で提示される「授業ルール」を守ること。 ②言語活動(聞く、読む、話す、書く)に意欲的に取り組むこと。 ③授業で配布されるプリントはファイルに綴じて、しっかりと管理すること。		

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	外国語:英語コミュニケーションⅡ	単位数 2 単位	履修年次 2 年次 (2・3年次分割履修)
目標	英語の特徴や決まりへの理解を深め、その知識を聞くこと・読むこと・話すこと・書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じて、適切に活用できる技能を身につける。また、英語で情報や考えを理解し、それらを適切に表現したり伝え合ったりする力を身につけるとともに、主体的に英語でコミュニケーションをとる姿勢を身につける。		
使用教材	教科書「開隆堂 Amity English Communication Ⅱ」 副教材「開隆堂 Amity English Communication Ⅱワークブック」		
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	英語の特徴や決まりへの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的に応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、日常的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションをとろうとしている。
評価方法	評価の観点・評価規準をふまえ、ペーパーテスト、パフォーマンステスト(実技テスト)の他、日々の授業態度、言語活動の様子、課題などの提出状況、小テストなどを含め、総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	<p>【英語の決まりや仕組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・be動詞、一般動詞の現在形と過去形の復習</li> <li>・助動詞の復習 ・動名詞の復習</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Lesson 1～ Lesson 2を中心に、日本の風土・食をテーマにした英文を読む。</li> </ul> <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在形を用いて、簡単な英文を書く。</li> </ul> <p>【聞くこと・話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気について話したり、聞いたりする。</li> </ul>	基礎・基本的な英語の決まりや仕組みの学習(1年次の復習)を行いながら、平易な英語で書かれた英文を読む力を身につける。また、現在形を使って自分の日常生活や習慣について短い英文を書けるようになる。	
2	<p>【英語の決まりや仕組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不定詞、受動態の復習 ・第4文型と第5文型</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Lesson 3～ Lesson 4を中心に、高校生活、日本文化をテーマにした英文を読む。</li> </ul> <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去形を用いて、簡単な英文を書く。</li> </ul> <p>【聞くこと、話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店で注文する際に必要な表現を聞いたり、それを使ったりする。</li> </ul>	基礎・基本的な英語の決まりや仕組みの学習(1年次の復習)を行いながら、平易な英語で書かれた英文を読む力をつける。また、過去の表現を使って過去の出来事について相手に書いて伝えられるようになる。また、飲食店でのやりとりを聞いたり、そこで必要な表現を使うことで、実践的な英語を学ぶ。	
3	<p>【英語の決まりや仕組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形式主語と形式目的語・使役動詞と知覚動詞</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Lesson 5～ Lesson 6を中心に、平和について考える題材をテーマにした英文を読む。</li> </ul> <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去形を用いて、自分の行動を英語で書く。</li> </ul> <p>【聞くこと・話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物で必要な表現を聞いたり、使ったりする。</li> </ul>	1・2学期の学習内容より複雑な英語の決まりや仕組みの学習を行いながら、長めでやや複雑な英文を読む力を身につける。また、過去形を使って英文を書く力も身につける。聞くこと・話すことに関しては、買い物でのやりとりを聞き、実際に使ってみることで、実践的で実用的な表現を学ぶ。	
学習上の留意点	<p>①最初の授業で提示される「授業ルール」を守ること。</p> <p>②言語活動(聞く、読む、話す、書く)に意欲的に取り組むこと。</p> <p>③授業で配布されるプリントはファイルに綴じて、しっかりと管理すること。</p>		

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目	外国語:コミュニケーション英語Ⅱ		単位数 2 単位	履修年次3年次 (2・3年次分割履修)
目標	コミュニケーション英語Ⅰで学習した文法事項のさらなる定着を図りながら、やや社会的な話題や日常会話で使われる英語を読んだり聞いたりして、その内容を理解する。また自分の意見や情報について、様々な文法や構文を用いて話したり書いたりする力をつける。ALTとの授業を通じて、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身につける。			
使用教材	教科書「三省堂 VISTA English Communication II New Edition」 副教材「三省堂 VISTA English Communication II New Edition ワークブック」 「数研出版 新訂七版 チャート式シリーズ LEARNERS' ラーナーズ高校英語」			
評価の観点・評価規準	(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)	(外国語表現の能力)	(外国語理解の能力)	(言語や文化についての知識・理解)
	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を読んだり聞いたりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価方法	評価の観点・評価規準をふまえ、各学期に実施される定期考査や小テストの結果に加え、授業への参加意欲や態度、課題の提出状況、ALTとの授業における取り組みの様子などを総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	【3年次】 ・使役動詞、知覚動詞の使い方 ・疑問詞+to不定詞 ・seemの用法 ・現在完了進行形 ・形式目的語it ・日常生活の身近な話題についてのコミュニケーション活動 教科書Lesson5～Lesson7の本文		2年次で学習した内容の復習を含めた、基礎・基本的な文法事項や文型について理解する。コミュニケーション英語Ⅰの学習内容が十分に定着していない場合は、既習内容に繰り返し触れることができる教科書を用いてその内容を学習することで、その習得を目指す。コミュニケーション活動においては、2年次の学習事項をより深め、自分自身の考えや情報を英語で表現できるよう、会話表現の練習を行う。	
2	【3年次】 ・部分否定 ・助動詞+受け身 ・関係代名詞の非制限用法 ・現在完了形の受け身 ・日常生活の身近な話題についてのコミュニケーション活動 教科書Lesson8～Lesson10の本文		1学期に学習した内容より複雑な文法事項や文型を学習し、より内容のある英語を読んだり、聞いたり、話したり、書いたりできることを目指す。これまでの学習事項をさらに深め、自分自身の意見や情報を英語で表現できるよう、会話表現の練習を行う。	
3	【3年次】 ・過去完了形 ・強調構文 ・日常生活の身近な話題についてのコミュニケーション活動 教科書“Enjoy Reading”の本文		1・2学期に学習した内容より複雑な文法事項や文型を学習し、より内容のある英語を読んだり、聞いたり、話したり、書いたりして、英語の総合的な力を身につける。コミュニケーション活動においては、これまでの学習事項をより深め、自分自身の意見や情報を的確に英語で表現できるよう、会話表現の練習を行う。	
学習上の留意点	2年次に2単位、3年次に2単位の分割履修となる。年度当初に提示される授業ルールを守る。単に授業に出席してノートを取るだけでなく、授業中の活動や発表、課題に意欲的に取り組むことを期待する。特にALTとの授業では、ペアワーク・音読・発表などの活動に対する積極的な参加の姿勢を重視する。			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	外国語:論理・表現 I (選択)	単位数 2 単位	履修年次 2 年次
目標	英語の特徴や決まりへの理解を深め、特に聞くこと・読むこと・書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、その知識を目的や場面に応じて、適切に活用できる技能を身につける。また、主体的に英語で表現をしたり、情報や考えを伝え合ったりする姿勢を身につける。		
使用教材	教科書「数研出版 BIG DIPPER English Logic and Expression I」 副教材「数研出版 BIG DIPPER English Logic and Expression I ワークブック」 副教材「東京書籍 フェイバリット英単語・熟語〈テーマ別〉コーパス1800 3rd Edition」 副教材「東京書籍 コーパス1800 3rd Edition チャンクマスター-WORKBOOK(1)」 副教材「東京書籍 コーパス1800 3rd Edition チャンクマスター-WORKBOOK(2)」		
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	英語の特徴や決まりへの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと・話すこと・書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的に応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、日常的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションをとろうとしている。
評価方法	評価の観点・評価規準をふまえ、ペーパーテスト、パフォーマンステスト(実技テスト)の他、日々の授業態度、言語活動の様子、課題などの提出状況、小テストなどを含め、総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の基礎的な仕組みの復習(Lesson 1~3)</li> <li>時を表す表現を学ぶ(Lesson 4~7)</li> <li>適切な時制表現を使って、自分自身や自分の身近なものについて英語で書いたり話したりしてクラスメイトに伝えたり、それに関するクラスメイトの発表を聞いたりする。</li> </ul>	基礎・基本的な英語の決まりや仕組みを復習した上で、正しい時制表現を使って、自分自身や家族、友人といった身近なことについて、英語で書いたり話したりする力を身につける。また、それらについて、クラスメイトが英語で発表することを聞いて理解する力を身につける。	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>助動詞の使い方を学ぶ(Lesson 8~9)</li> <li>英語特有の動詞の使い方を学ぶ(Lesson 10~11, 15)</li> <li>不定詞の使い方を学ぶ(Lesson 12~14)</li> <li>比較の表現を学ぶ(Lesson 16~17)</li> <li>助動詞や不定詞、比較の表現を使い、芸術や有名人、自分の趣味や休暇について英語で書いたり話したりする。また、それに関するクラスメイトの発表を聞いて理解する。</li> </ul>	基礎・基本的な英語の決まりや仕組みを理解した上で、助動詞や不定詞、比較表現といったやや発展的な表現を使って、多岐にわたるテーマについて、英語で書いたり話したりする力を身につける。また、それらについて、クラスメイトが英語で発表することを聞いて理解する力を身につける。	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係詞の使い方を学ぶ(Lesson 18~19)</li> <li>仮定法の使い方を学ぶ(Lesson 20)</li> <li>節の役割について学ぶ(Lesson 21)</li> <li>関係詞や仮定法などの文のつながりを示す語句を使い、いくつかのテーマについて英語で書いたり話したりする。また、クラスメイトの発表を聞いて質問をしたり感想を伝えたりする。</li> </ul>	基礎・基本的な英語の決まりや仕組みを理解した上で、関係詞や仮定法といった発展的な表現を使って、多岐にわたるテーマについて、英語で書いたり話したりする力を身につける。また、それらについて、クラスメイトが英語で発表することを聞いて理解し、質問する力を身につける。	
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>①最初の授業で提示される「授業ルール」を守ること。</li> <li>②言語活動(聞く、話す、書く)に意欲的に取り組むこと。</li> <li>③授業で配布されるプリントはファイルに綴じて、しっかりと管理すること。</li> </ul>		

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目	外国語:英語表現Ⅰ(選択)		単位数 2 単位	履修年次 3 年次
目標	進路実現のため英語を必要とする生徒を対象とし、文法事項・文型・語彙などの基礎・基本的な英語力を身につけるとともに、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身につける。平易な英語を書いたり、話したりすることで、自分自身の意見や経験、身の周りのことを表現するための基礎を養う。			
使用教材	教科書 「数研出版 Revised BIG DIPPER English Expression I」 副教材 「数研出版 新訂七版 チャート式シリーズ LEARNERS' ラーナーズ高校英語」 「数研出版 改訂新版 BIG DIPPER English Expression I レッスンブック Grammar in 21 Lessons」 「東京書籍 フェイバリット英単語・熟語〈テーマ別〉コーパス1800 3rd Edition」 「東京書籍 コーパス1800 3rd Edition チャンクマスターWORKBOOK(1)」 「東京書籍 コーパス1800 3rd Edition チャンクマスターWORKBOOK(2)」			
評価の観点・評価規準	(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)	(外国語表現の能力)	(外国語理解の能力)	(言語や文化についての知識・理解)
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を読んだり聞いたりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価方法	評価の観点・評価規準をふまえ、各学期に実施される定期考査や小テストの結果に加え、授業への参加意欲や態度、課題の提出状況などを総合的に評価する。			
学期	学習方法		学習のねらい	
1	教科書LESSON1～10の内容 ・肯定文、否定文／疑問文 ・現在形、過去形／進行形 ・未来表現 ・現在完了／過去完了 ・助動詞 ・文型		各文法事項の基礎・基本的な内容を理解し、空欄補充や短い英作文問題などに取り組むことにより、英語を書いたり、話したりするための基礎力を身につける。また日常的な会話表現を学び、自分自身のことについて、英語でコミュニケーションを図るための基礎を身につける。	
2	教科書LESSON11～17の内容 ・受け身 ・不定詞 ・動名詞 ・分詞 ・比較		各文法事項の基礎・基本的な内容を理解し、空欄補充や短い英作文問題などに取り組むことにより、英語を書いたり、話したりするための基礎作りをする。また日常的な会話表現を学び、身の周りのことについて、英語でコミュニケーションを図るための基礎を身につける。	
3	教科書LESSON18～21の内容 ・関係詞 ・接続詞		これまでに学習した文法事項や表現を用い、平易な英語を書いたり、話したりすることで、自分自身の意見や経験、身の周りのことについて表現し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身につける。	
学習上の留意点	年度当初に提示される授業ルールを守ること。単に授業に出席してノートを取るだけでなく、授業中の活動や発表、課題に意欲的に取り組むことを期待する。進路実現に向けて、英語をしっかりと勉強したい人のための講座である。			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目	外国語: 英語表現Ⅱ(選択)	単位数 4 単位	履修年次 3 年次
目標	本講座は英語表現Ⅰを履修した生徒で、進路実現のため発展的な英語を必要とする者を対象とする。英語表現Ⅰでの学習の定着を図りつつ、より発展的な文法事項・文型・語彙などの英語力を身につけるとともに、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身につける。英語を書いたり、話したりすることで、様々なトピックについて、自分の意見を適切に表現するための力を養う。		
使用教材	教科書 「数研出版 Revised BIG DIPPER English Expression Ⅱ」 副教材 「数研出版 新訂七版 チャート式シリーズ LEARNERS' ラーナーズ高校英語」 「東京書籍 フェイバリット英単語・熟語〈テーマ別〉コーパス1800 3rd Edition」		
評価の観点・評価規準	(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)	(外国語表現の能力)	(外国語理解の能力)
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を読んだり聞いたりして、情報や考えなどを的確に理解している。
評価方法	評価の観点・評価規準をふまえ、各学期に実施される定期考査や小テストの結果に加え、授業への参加意欲や態度、課題の提出状況などを総合的に評価する。		
学期	学習方法	学習のねらい	
1	教科書LESSON1～10の内容 ・現在形、現在進行形、過去形、過去進行形 ・未来表現 ・現在完了／過去完了 ・助動詞、助動詞＋完了形 ・文型 ・受け身 ・不定詞	各文法事項の基礎から、やや発展的な内容を理解し、演習を行うことにより、それらの表現を用いて英語で正しく表現する力を身につける。また日常的な会話表現を学び、自分自身や学校生活、趣味等のトピックについて、適切な表現を用いて自分の意見を述べるができるよう練習する。	
2	教科書LESSON11～20の内容 ・動名詞 ・分詞 ・比較 ・関係代名詞 ・関係副詞 ・仮定法 ・時制の一致／間接話法	各文法事項の基礎から、やや発展的な内容を理解し、演習を行うことにより、それらの表現を用いて英語で正しく表現する力を身につける。また日常的な会話表現を学び、観光・旅行、日本の文化等のトピックについて、適切な表現を用いて自分の意見を述べるができるよう練習する。	
3	教科書LESSON21～22の内容 ・否定 ・無生物主語	これまでに学習した様々な文法事項や表現を用い、英語を書いたり、話したりすることで、幅広いトピックについて、自分の意見を適切に表現できることを目指す。	
学習上の留意点	年度当初に提示される授業ルールを守ること。単に授業に出席してノートを取るだけでなく、授業中の活動や発表、課題に意欲的に取り組むことを期待する。進路実現に向けて、英語をしっかりと勉強したい人のための講座である。		

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目	外国語:英語会話(選択)		単位数 2 単位	履修年次 3 年次
目標	日常的な会話で使われる英語を聞いて理解するとともに、場面や目的に応じて答える。関心のあることについて基本的な質疑応答をする。自分の意見や経験を表現する。また、海外生活における日常生活や文化に触れることで、国際理解を深め国際感覚を養うとともに、英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。			
使用教材	教科書 文英堂 「My Passport English Conversation」			
評価の観点・評価基準	(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)	(外国語表現の能力)	(外国語理解の能力)	(言語や文化についての知識・理解)
	自分に関する情報を相手に伝えようとする意思を示すとともに、相手の発言に反応し関心を示すなど積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	自分に関する情報を適切な表現を使って相手に伝えることができる。また、適切な表現を使って場面に応じた質問を相手にすることができる。	対話表現に関する文法やイントネーションを的確に理解している。	会話表現のイントネーションや語の強弱などを理解している。各課のトピックの背景にある文化などを理解している。
評価方法	各学期に実施されるペーパーテストや小テストの結果に加え、授業における言語活動への参加意欲や受講態度、課題の提出状況、ALTとの授業における発表の達成状況などを総合的に評価する。			
学期	学習方法		学習のねらい	
1	Lesson1～4 機能表現 ・紹介、職業質問 ・依頼 ・時間質問 ・行先質問 ・所要時間 ・希望伝達 ・提案		自己紹介、相手について知る、海外に出かけることに関連する場面(ホテル、郵便局、観光)での英語について聞いたり、読んだり、話したり、書いたりすることができるようにする。特に、会話表現を聞いて理解し、コミュニケーション活動を行うことで、これらの表現を使った会話ができるようになることを目指す。	
2	Lesson5～8 機能表現 ・注文 ・料金質問 ・サイズ質問 ・試着許可 ・場所質問 ・忠告 ・様子伺い ・言い換え		1学期の内容からさらに発展して、より内容の深い英語を聞いたり、読んだり、話したり、書いたりできるようになることを目指す。具体的には、ファーストフード店で注文する、買い物をする、駅で行き方をたずねる、病院で診察を受ける、薬局で薬を買う場面を想定している。これらの場面での会話表現を聞いて理解し、これらの表現を使った会話ができるようコミュニケーション活動を行っていく。	
3	Lesson9～10 機能表現 ・勧誘 ・念押し ・意見伝達 ・理由質問		1～2学期の内容からさらに発展した会話表現を中心に学んでいく。友達に予定をたずねる、パーティーを企画する、空港でチェックインするといった場面での会話ができるようになることを目指す。	
学習上の留意点	英語学習に意欲的で、言語活動に積極的に参加することができる人のための授業である。年度当初に提示される授業のルールを必ず守ること。単に授業に出席して板書を写すだけでなく、授業中の課題や活動、発表に意欲的に取り組むこと。特に、言語活動への意欲的で積極的な参加態度を重視する。			